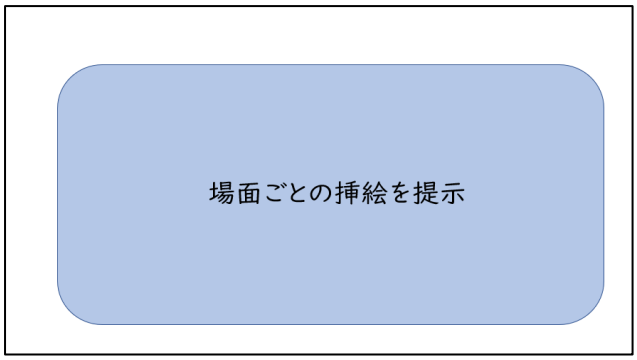
本時版「ICT を活用したまなび」授業実践

教科	国語	学年	1年
単元名 (教材名)	おはなしに でてくるひとの ようすを おもいうかべて よもう 「くじらぐも」 （光村図書 こくご一下 ともだち）	時	第6時（全7時間）
本時の 目標	○登場人物の行動を具体的に想像しながら読むことができる。 （思考力、判断力、表現力等）（C（1）エ）		

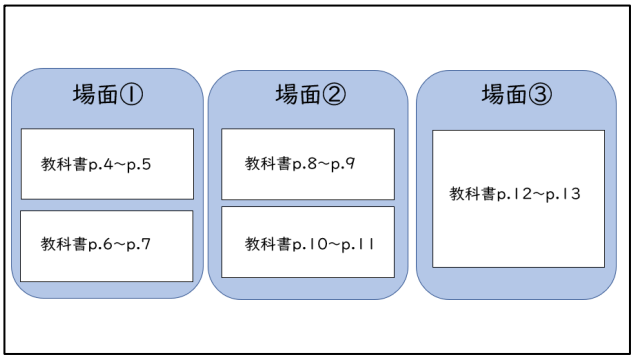
	学習活動	ICT 活用
1	○お話の内容を確かめる。 ☆資料1、☆資料2を参照	【書画カメラ・大型提示装置】 ・教科書を書画カメラで映し、場面ごとの挿絵を見せる。（☆資料1） ・お話の順に挿絵を並べ、内容の大体を捉えられるようにする。（☆資料2）
	めあて　くものうえで、おはなししたことをかんがえてよもう。	
2	○めあてを知り、学習の見通しをもつ。 ・教師の例を見て、学習方法を理解する。 ☆資料3を参照 ・自分の考えを付箋に書き、教科書の挿絵に貼る。 ・困ったときは、おたすけカードを参考にして付箋を書いてよいことを知る。 ☆資料4を参照	【書画カメラ・大型提示装置】 登場人物が話したことを付箋に書き挿絵に貼って読む。 ※1年生という発達段階を踏まえ、児童の学習意欲を高めるためのしかけとして、付箋を活用している。
3	○考えたことを友達と伝え合う。 ・教科書に貼った付箋を見せながら、隣の席の友達と自分の考えを伝え合う。 ・書画カメラで映した挿絵に付箋を貼り、学級の友達に自分の考えを発表する。 ・書画カメラで映したたくさんの付箋を見て、いいなと思う友達の意見を声に出して読む。 ☆資料5を参照	【書画カメラ・大型提示装置】 ・自分の付箋を貼って、学級の友達に考えを発表する。 ・いろんな友達の意見を知り、いいなと思うものを選んで読む。

備　考
○ICT を活用することで、学習課題をすぐに理解し、意欲的に学習に取り組むことができる。 ○友達の考えをたくさん知ることで、自分が想像した読み方と似ているところや違うところを感じながら、想像を広げて自分の読みを深めることができると考えられる。 ○中・高学年では、付箋の代わりに Jamboard を使って、意見共有をすることができる。

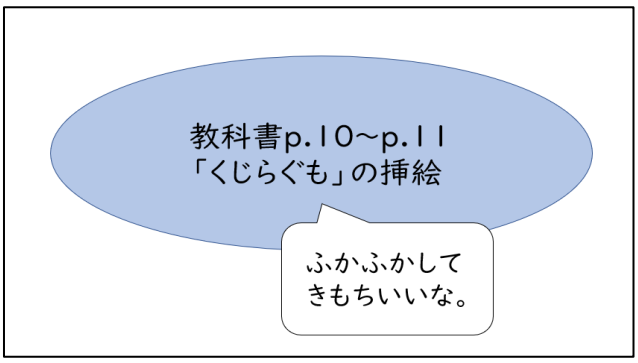
☆資料１　場面ごとの挿絵



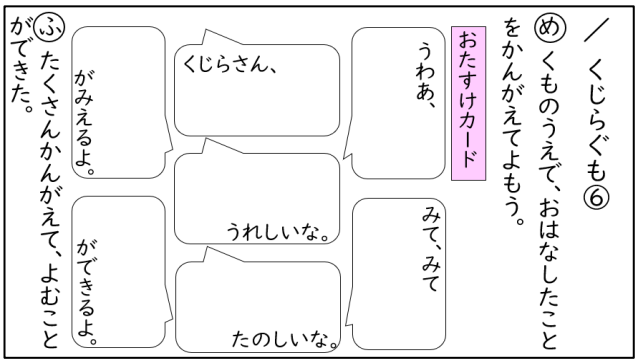
☆資料２　お話の順に並べた挿絵



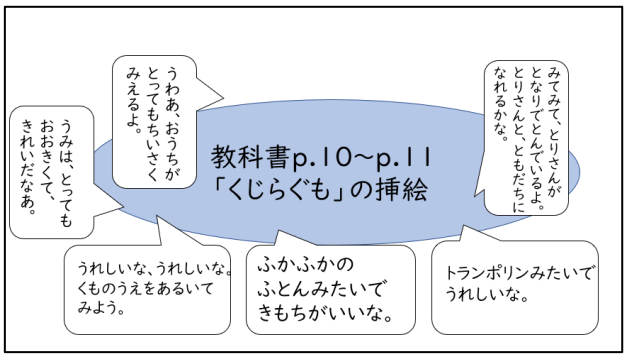
☆資料３　教師の例



☆資料４　おたすけカード（板書例より）



☆資料５　友達の意見



作成【奈良県立教育研究所】